

## 2018 ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会の結果報告について

2009年第1回大会から数え9回目の開催となりました「2018ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会」を平成30年5月12日(土)、13日(日)の両日に開催しましたので結果を報告します。

### (1) 競技結果

ア 5月12日(土) エリート(トップアスリート)大会

競技種目	出走者数	完走者数	完走率
パラトライアスロン	70人<70人> (男43/女27)	69人<68人> (男43/女26)	98.6%<97.1%>
エリート	108人<115人> (男55/女53)	94人<88人> (男48/女46)	87.0%<76.6%>
参加国	32の国及び地域		

< >内は2017大会

イ 主な成績  
(エリート)

【女子】 レース結果	順位	氏名	国及び地域	タイム
	1位	フローラ・ダフィ	バミューダ諸島	1:53:26
	2位	ケイティー・ザフィアエス	アメリカ	1:53:59
	3位	ノン・スタンフォード	イギリス	1:54:42
	(日本人)			
	<u>15位</u>	<u>高橋 侑子</u>	<u>日本</u>	<u>1:56:59</u>
16位	井手 樹里	日本	1:57:10	
【男子】 レース結果	順位	氏名	国及び地域	タイム
	1位	マリオ・モーラ	スペイン	1:44:59
	2位	ヤコブ・バートウィッスル	オーストラリア	1:45:40
	3位	フェルナンド・アラサル	スペイン	1:45:51
	(日本人)			
	<u>32位</u>	<u>小田倉 真</u>	<u>日本</u>	<u>1:48:15</u>
34位	古谷 純平	日本	1:48:28	

(パラトライアスロン) ※障害の種類・程度により6区分

○切断や麻痺など肢体不自由の立位の選手が出場するクラス(PTS4)

PTS4 【女子】 レース結果	順位	氏名	国及び地域	タイム
	<u>1位</u>	<u>谷 真海</u>	<u>日本</u>	1:13:56
	2位	アナ・プロトニコワ	ロシア	1:16:03
	3位	サリー・ピルビーム	オーストラリア	1:17:42

○ハンドサイクルや競技用車いすを使用する選手が出場するクラス(PTWC)

PTWC 【女子】 レース結果	順位	氏名	国及び地域	タイム
	<u>1位</u>	<u>土田 和歌子</u>	<u>日本</u>	1:11:23
	2位	ローレン・パーカー	オーストラリア	1:14:53
	3位	アハリヤー・レッテンバーガー	アメリカ	1:15:09

ウ 5月13日(日) エイジ(一般)大会

競技種目	出走者数		完走者数		完走率
エイジパラ トライアスロン	31 <19>		30 <17>		96.8% <89.5%>
	男	女	男	女	
	24 <14>	7 <5>	23 <12>	7 <5>	
エイジ スタンダード	1,118 <1,084>		1,049 <923>		93.8% <85.1%>
	男	女	男	女	
	942 <906>	176 <178>	884 <772>	165 <151>	
エイジ スプリント	265 <300>		243 <262>		91.7% <87.3%>
	男	女	男	女	
	222 <238>	43 <62>	206 <209>	37 <53>	
エイジリレー	102 (34組) <108 (36組) >		102 (34組) <90 (30組) >		100% <83.3%>
合計	1,516 <1,511>		1,424 <1,292>		93.9% <85.5%>

※最年少出場者 16歳、最高齢 81歳

< >内は 2017大会

(2) 観戦者数

421,000人 (2日間合計・・・12日(土) 180,500人、13日(日) 240,500人)

(3) ボランティア

延べ約 1,200人

(4) 映像発信

- ・ NHK BS1 約5時間にわたりエリート女子・男子競技を生中継  
5月12日(土) 10:00~15:15
- ・ 国際トライアスロン連合ウェブサイトを通じた世界配信  
5月12日(土)、5月13日(日)とも大会終了まで放送

(5) 2018年大会の特徴 (ウ 競技種目[エイジパラトライアスロン]の欄参照)

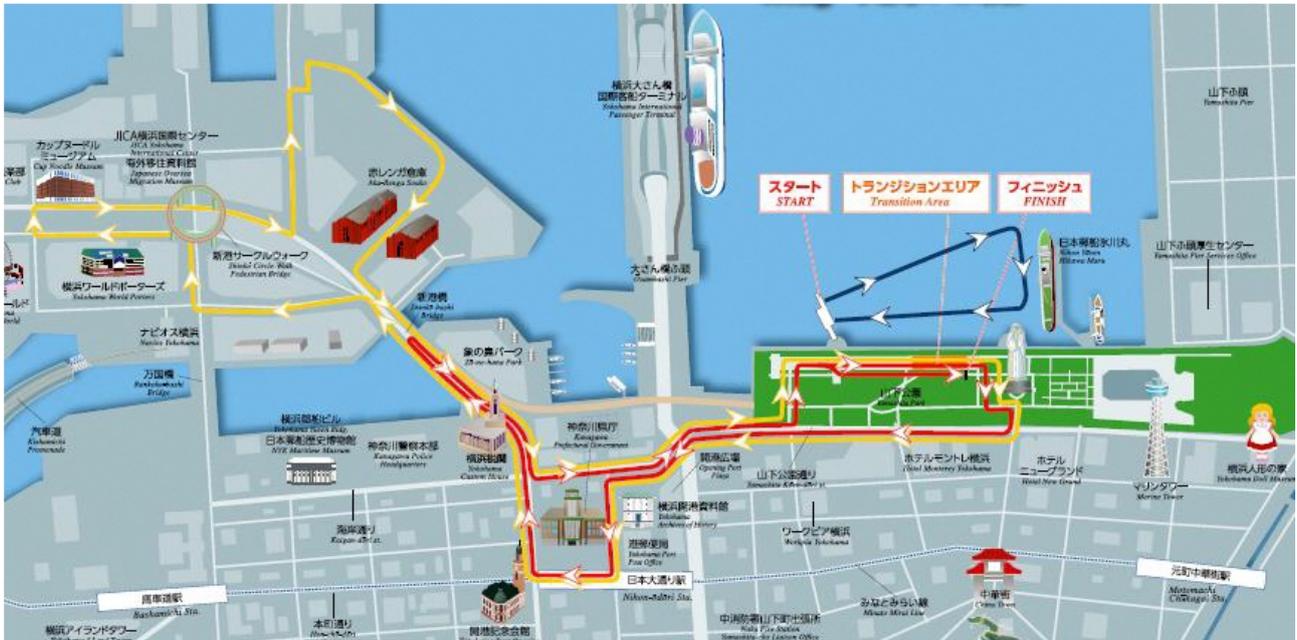
**エイジパラトライアスロン出場者数が大幅増加**

昨年の19人から大幅増となる国内1大会では最高の31人が出走し、30人が完走しました。大会開催目標の1つに「障がい者スポーツの推進」を掲げる中、「パラトライアスロンの街、横浜」の認知が着実に高まっています。

(6) コース

山下公園をメイン会場に、スイム1.5km、バイク40km、ラン10km、全体で51.5kmのスタンダードディスタンス(3頁コース図参照)

<コース図> 5/12 (土) エリートコース



<コース図> 5/13 (日) エイジコース



5/12 (土) エリートパラ女子 日本人選手の活躍



谷 真海 選手 (PTS 4 2年連続優勝)



土田 和歌子 選手 (PTWC 2年連続優勝)

5/12 (土) エリート男女



(エリート男子) 赤レンガ倉庫バイク走行



(エリート女子) 山下公園前海域をスイム

5/13 (日) エイジ (一般参加)



たくさんのボランティアに支えられる大会運営/大きな声援に応じて力走する一般参加トライアスリート

©Shugo TAKEMI、© Satoshi TAKASAKI/JTU